



## 画像収録オプション機能

刺激出力シーケンスプログラム (Stimuli Output Sequencer Program) の画像収録オプション機能は、PCにUSBカメラを接続して、検査中の刺激タイミングで1コマずつ画像を収録保存します。保存画像を確認し、検査の確実性を向上させることが可能です。結果は、テキスト形式 (CSVファイル) の保存やレポート印刷が可能です。

### 特徴

- Windows環境の高性能ノートPC及びデスクトップPC上で動作します。
- Windows Xp, Windows7, Windows10でUSBポート付、DirectX9.0のインストールが必要
- USBカメラ画像を取り込みます、確認モニタが可能です。
- 画像の収録結果を画面で確認できます。1コマずつの確認と一覧形式での確認が可能です。確認時に、画像エラー情報 (よそ見、範囲外、閉眼) を指定できます。
- 画像の差分を定量化してトレンド表示します。
- 画像データはIMG形式 (JPEG形式のオリジナルフォーマット) で保存します。
- エラー画像をレポート印刷します。
- 操作ヘルプが充実。

### 画面例

使用USBカメラ例 (Logitech社のLogicoolシリーズなど)



### 画像レポート例

#### 反応時間トータルレポート

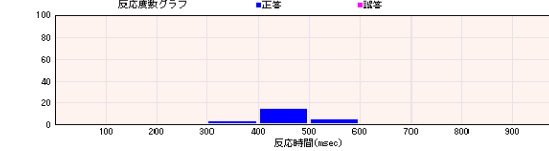
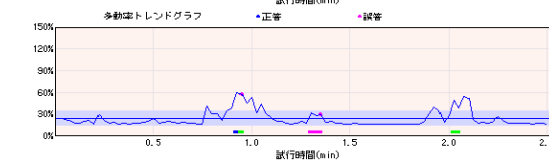
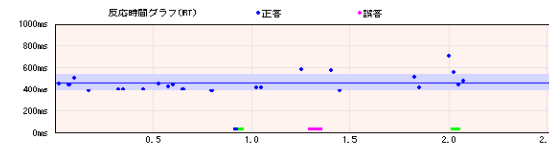
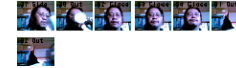
|                                   |            |          |
|-----------------------------------|------------|----------|
| サンプル名 (Oddball) 音 500, 1K, 2K, 3K | 2006/03/31 | 10:21:37 |
| 収録フレーム数                           | 1500       |          |
| 基本インターバル (ms)                     | 0          |          |
| インターバルランダム化                       | 100        | 1000     |
| 画像トリガ時間 (ms)                      | 100        |          |
| 反応時間 (ms)                         |            |          |

|     |      |         |
|-----|------|---------|
| 具数1 | 映像具数 | 画像数 [1] |
| 具数2 | 映像具数 | 画像数 [2] |
| 具数3 | 映像具数 | 画像数 [1] |
| 具数4 | 映像具数 | 画像数 [1] |

|                      |        |        |       |
|----------------------|--------|--------|-------|
| 反応時間差分計算             |        |        |       |
| トータル具数数              | 100    |        |       |
| 正反応数                 | 98     |        |       |
| 正誤率 (%)              | 98.00  |        |       |
| 正反応時間 (平均 SD CV)     | 495.15 | 81.25  | 0.175 |
| 負反応数                 | 2      |        |       |
| 正誤率 (%)              | 2      |        |       |
| おっつけの回数              | 0      |        |       |
| 範囲外-100%             | 0      |        |       |
| 画像エラー数 (よそ見, 範囲外)    | 0.306  | 411.64 | 0.480 |
| 画像エラー (検出し, 範囲外, 閉眼) | 1      | 3      | 3     |
| 多動率 (平均 SD CV)       | 23.52  | 10.491 | 0.448 |



### 仕様

- 入力可能カメラ USB接続型カメラ (30万画素以上)
  - 収録タイミング 刺激提示後の任意時間後に1ショット (時間精度はカメラ転送速度などによる)
  - 最大収録画像数 最大1200画像 (1200刺激まで対応可能)
  - 結果表示 1画像ごとの確認、一覧での確認、画像情報の付加 (よそ見、範囲外、閉眼の識別)
  - 多動率トレンド 画像解析した多動率のトレンド表示が可能
  - 画像ファイル IMGファイル形式でNRTファイルと同じ場所に保存
  - レポート印刷 画像エラーの数, エラー画像だけの印刷
- このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。**

### 動作環境

- パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機) ペンティアム 4 1GHz 以上 USBポート
- メモリ 2GB 以上 (推奨 4GB 以上), ハードディスクの残り容量 10GB 以上
- SVGA (800×600) 以上の解像度 カラー分解能 16, 24ビット DirectX9.0のインストール、
- 対応OS Windows7, Windows8, Windows10, WindowsXp (すべて日本語環境)

### 価格 (税抜) (すでに刺激シーケンス基本ソフト購入していること)

オプション価格 定価¥150,000 (USBカメラは別売)  
 PC送付によるインストールサービス 定価 ¥10,000  
**現地での納入・説明は別途費用がかかります。**

開発元 (有) のるぷろライトシステムズ 問い合わせメール noru@fb3.so-net.ne.jp  
 〒185-0003 東京都国分寺市戸倉 2-11-25 TEL/FAX 042-304-1951 **できるだけメールでお問い合わせください。**